

日本共産党杉並区議会議員

こんにちは

# 酒井まさえです



2025年1月12日 No.182 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111  
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com

## 2025年 新しい政治のプロセスが進む年に 区民が主人公の区政めざし全力で!



元旦 大宮八幡宮 あいさつ

新しい年が始まりました。  
今年もよろしくお願ひします。

昨年は、東京都知事選挙、衆議院選挙でのご支援、ありがとうございます。

国民の審判で、与党の自民党、公明党が過半数割れし、国会は大きく変わりました。「数の力」により与党の押し下げがなくなりました。

今年は、6月に都議会議員選挙、7月に参議院選挙があり、原田あきら都議、吉良よし子参議院議員を押し上げるため全力を尽くします。

杉並区政は、岸本区長就任後2年半が経過し、区民との対話を活かしたくらし、福祉優先の区政が行われています。私達区議団は、その区政をさらに前に進めるために今年も全力で頑張ります。

ご支援をよろしくお願ひします。

### 酒井地域 新春のつどい

2月23日(日)午後1時より  
場所 東京土建会館  
おさそい合わせてご参加ください!



多彩なプログラムを用意しています。



連絡先  
090-9325-5676

### 松ノ木学童クラブに第2学童クラブ設置 (主に対象は堀ノ内小学校)

学童クラブは、児童福祉法で放課後児童健全育成事業として位置づけられ、保護者が就労等のために留守になる家庭の児童に、遊びと生活の場を提供するところです。

松ノ木学童クラブは、昨年4月の時点で待機児童が26名になり、改善策を検討していました。

今年4月から、第2学童がケア24松ノ木の2階にて36名の定員で実施されることになりました。党区議団も求めてきました。



高すぎる  
保険料

# 引き下げに向け あらゆる努力を！ 東京都に申し入れ

12月24日、日本共産党東京都委員会、都議団、区市町村議員団は、物価高騰で都民生活が深刻なもと、国民健康保険料の引き下げに向け、東京都があらゆる努力を行うよう、申し入れをおこないました。杉並区議団からは、小池区議と、くすやま区議が参加しました。

## 保険料、減額の試算

### 示される

東京都は11月に都国民健康保険運営協議会を開催。来年度の国保料について、国の仮係数に基づいて、区市町村に課す納付金が減額となることから、自治体独自の法定外繰入（一般会計からの繰り入れ）を行わない場合、国保加入者一人あたり18万2365円となり、今年度と比べ**8071円**の引き下げになるとの試算を示しました。

引き下げの要因について、都は「医療給付費の総額が大きく減額したため」としています。今後、確定係数に伴って東京都が実際の納付金額を決定し、区市町村が保険料率を決定することになります。

都が示した来年度の試算額は、今年度より引き下がってはいるものの「高すぎる保険料」であることに変わりありません。

財政運営の主体である東京都が引き下げに向けて、あらゆる努力を行うことを求め、参加した議員から質問や意見が出されました。

都の担当課長は、「国民健康保険は全国統一の制度であり、基本的には国が考えるべき。国は国保に対し毎年3400億円の財政支援をおこなっていて、そもそも支援が厚い。都も自治体がおこなっている法定外繰入金は廃止すべきと考えている。」と回答し、国保料が高くて生活が圧迫されているという都民の声に向き合う姿勢を見せることはありませんでした。

引き続き、国保料の引き下げに向け、杉並区に求めていきます。



1月3日  
成田東地域  
お囃子連の  
獅子舞

## 健康の話

### ヒートショックについて

新年になり、寒い日が続いています。寒さ対策はしっかりしていますか？

今の季節に気を付けたいのが、「ヒートショック」です。

ヒートショックとは、気温の低いところから暖かい部屋へ、または、暖かい部屋から寒い部屋への移動などによる急激な温度変化によって、血圧が上下に大きく変動することがきっかけで起こる、体の変化です。

特に冬季の入浴時に起こりやすいので知られていません。血圧の変動により、失神や心筋梗塞、脳梗塞が起ります。

予防を挙げてみます。

- ① 入浴前に脱衣室と浴室を暖かくする
- ② 湯船に入る前に、シャワーやかけ湯で体を温める
- ③ 湯船の温度はぬるめ（41度以下）とし、長湯をさける
- ④ 入浴前後に、コップ一杯の水分補給をする
- ⑤ 入浴前のアルコール、食後すぐの入浴は控えること。

- ⑥ 血圧が高いときは入浴を控える
- ⑦ 家庭内で、家族が守る体制をつくること

一人暮らしで心配の方は、杉並区で行っている「高齢者緊急通報システム」の制度を使うこともお勧めします。お気軽にご相談ください。

お困りのことがありましたら

酒井「こ」連絡ください。

